

箕面は今後 10 年間何に力を入れて取り組むべきか？ Aグループ

市民による市民のための
“市民参加”

- 市民参加(上原)
 - ・市民を交えた会議、交流会、イベント企画、意見募集 各課の政策へ反映
- 市民協働・市民参加「市民による市民のための行政」(五藤)
 - ・形式的な市民参加ではなく、実質的な市民参加
 - ・計画決定、実践、フォローアップまでの市民協働
- 市民がまちづくりに参画し易いまち(川端)
- 箕面自治基本条例を(前川)

効率的で健全財政を目指す
“行財政改革”

- 行財政改革「財政不安のないまち箕面」(五藤)
 - ・一層の財政基盤の強化
 - ・行政改革
 - ・市民も痛みを分け合う改革
- 行財政
 - ・アウトソーシングには公募制を
 - ・公共工事など市内業者に
- 老朽化した公共財対策(前川)
 - ・維持管理や更新の重視
 - ・横断的な総合対策の推進
 - ・市財政プランの確立
- 箱物不要(林下)
 - ・この10年で出来たものの管理
 - ・歴史に残るものであってほしい
- 科学的な市政運営(前川)
 - ・計画と実行を数値
 - ・検証を事実をもとに

市民と行政の分担

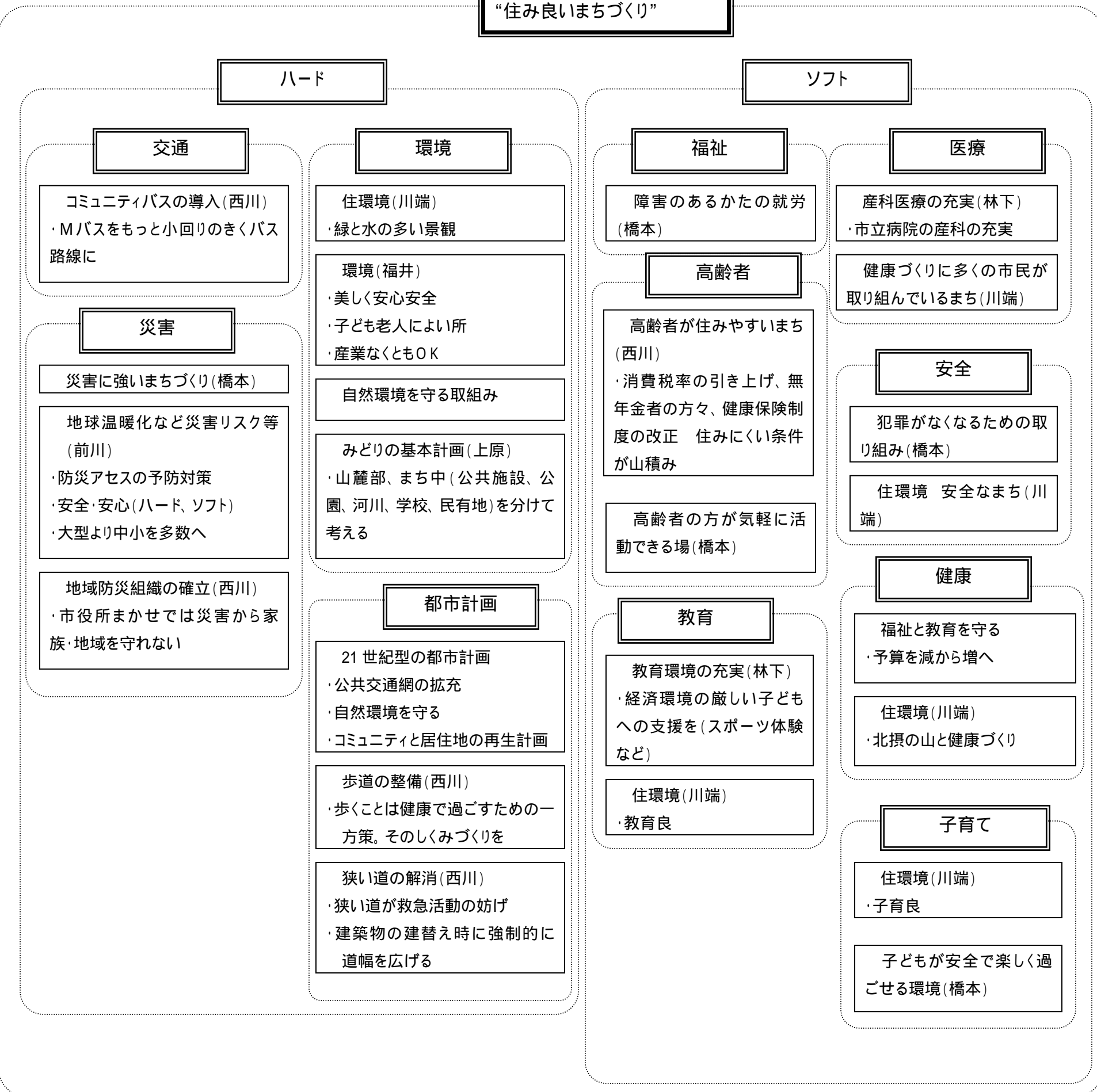
市民自らが行政事業の一端を担う。補完性の原則

個別課題への対応(五藤)
・市民会議参加市民の個別課題への対応(軽視しない)

観光

観光(福井)
・年間120万人を年間500万人に

若い人も高齢者もみんなが
“住み良いまちづくり”



子どもやお年寄りが安心して暮らせるまち

子ども

子どもが安全に暮らせるまち (木村)
・小さい子どもも親の付き添いがないでも安心して遊べる

子どもの育て方ももっともっと考えよう

高齢者

高齢者がいきいきと暮らせるまち(木村)
・独居老人でもいろいろなサポートができています

老人力の活用をもっともっと考えよう(嶋田)

高齢者への筋トレ施設(岩重)
・寝たきりにならぬよう！出かけたついでに出来るような施設にして

若者

若い人たちが元気に活動するまち(木村)
・若い人たちのいろいろな取り組みを支援する

若い世代が住みたくなるまちづくり(木村)

市民参加による行財政改革

行財政改革(浜)
・市民職員(半官半民、ボランティア)
・助役は市民公募
・シンクタンク

箕面市発行のお金をつかってはいかが(嶋田)

協働と選択(小林)
・制度・システムの見直し

市民が主体の持続可能な「まちづくり」~箕面(吉田)

日本中からうらやましがられ、あこがれる箕面を作ろう、磨きあげよう(嶋田)

市民の本当の力を引き出さないといけません(嶋田)

小さな行政組織にしたいね(嶋田)

今までにない新しい形のキャンプ場づくり(岩重)

金を使わないで知恵をもっともっと使しましょう(嶋田)

税金に見合ったサービスの提供をしよう、お役所さん(嶋田)

民で出来ることは民で(嶋田)

収入にみあった支出で市が運営出来るようにしよう(嶋田)

800 件の条例。これをへらすことを検討しましょう(嶋田)

国際協働

外国人市民との共生(小林)
・外国人市民が増加
・多文化共生社会

文化的なまち(木村)
・いろいろな文化が尊重されるまち

暮らしの中で根づく健康的なまち

健康予防の高いみのお(岩重)
・病気にかからない体力増進を計るチャンスがいつも得れる

高度医療をいつでも受けられる安心(岩重)

山道の整備(岩重)
・健康ハイキングが気持ち良く出来る

他市に比べて遅れている体育行政を上げる(岩重)
・スポーツ施設、指導員

美化活動

まちに愛着をもってきれいにしよう

街が汚いね(嶋田)
・箕面市は住民の町。とにかく美しいまちにしよう！

緑と手入れの行き届いた広場(戸島)
・協働するまちづくり

箕面の宝(山、川)をもっと愛すること(嶋田)

商業活性化

産業の活性化(吉田)
・農業、商業

コミュニティ

市民参加、市民主体の市民組織の充実(吉田)

小学校区毎にクラブ(岩重)
・運動、文化のクラブづくり(ドイツ・ヨーロッパ型の地域で豊かに過ごす)

コミュニティの再生(木村)
・地域の人の顔が見えてコミュニケーションがとれる

となり 3 軒両どなりのおつきあい(戸島)

元気な人づくり(岩重)
・友だち、趣味、日々の課題を持つ環境と投げかけ

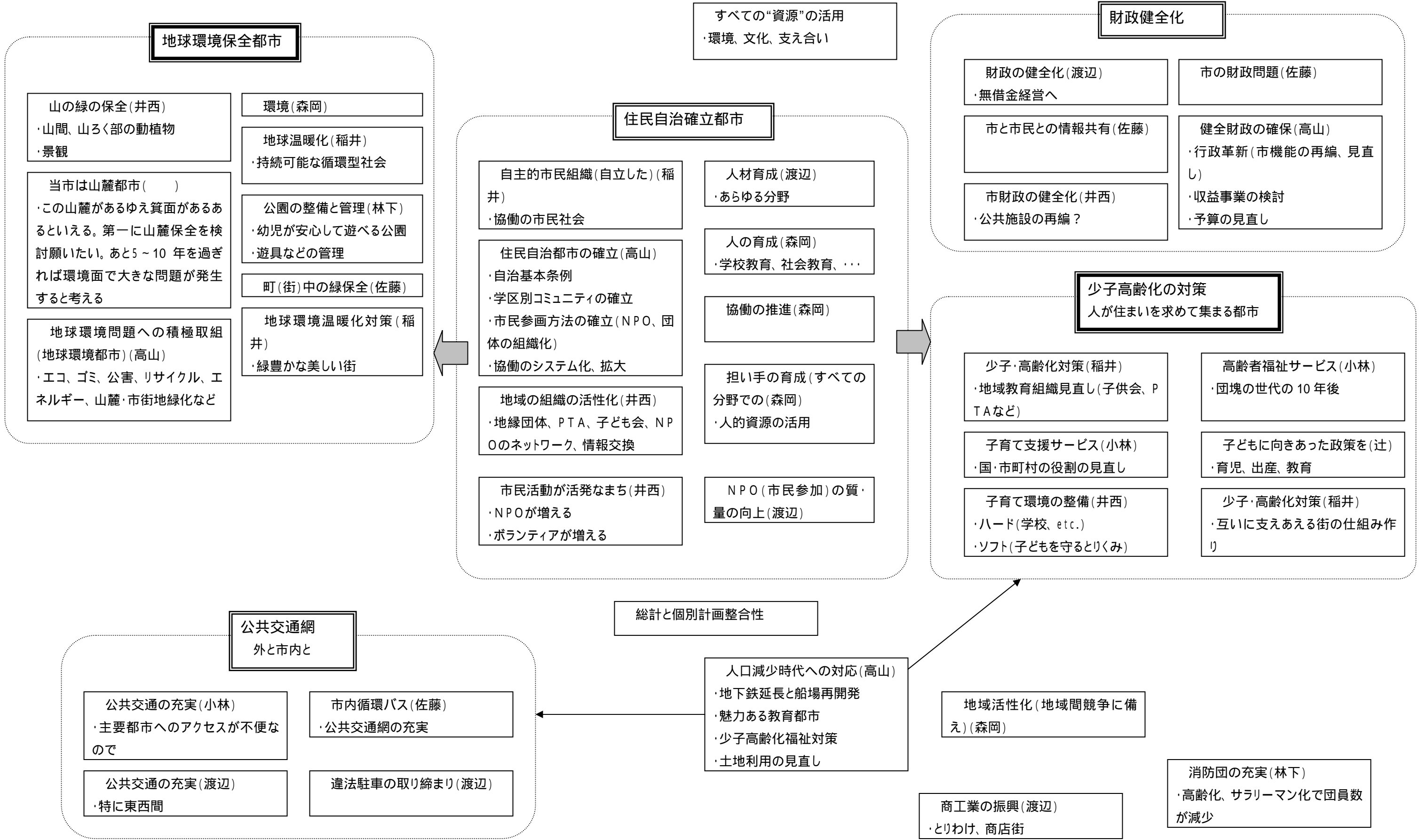
ふるさと愛

品格のある街、品格のある人、品格のある子供(嶋田)

交通政策

市内の公共交通(神崎)
・Mバスのあり方(継続、廃線など)については、利用者である市民とじっくり協議すべき

移動のしやすいまちづくり(戸島)



箕面は今後 10 年間何に力を入れて取り組むべきか？ Dグループ

安心・安全
～箕面に住んでよかった！！
～住みたい街

防災

地域防災、防犯、災害体制の強化(田中)
・自主防災組織率、防災マップ

子ども・子育て

子どもが楽しんで暮らせるまちづくり(藪木)
・子供の遊び場づくり
・子供や親が安心して暮らせる環境整備

父子家庭、母子家庭の子どもの生活環境(釋)

・子供たちの安全を守るための人員と子供たちの健全な成長を見守り、モラルの高い子供たちになって欲しいと願う。親と教育者を橋わたしをしてくれる組織(有山)

子育てしやすい「箕面」(田中)
・地域で育てよう

地域医療 充実・見直し

医療サービス(釋)

地域医療の見直し(充実)(田中)
・特に医師不足
・夜間緊急医療体制

高齢者医療、介護サービスの箕面方式の創設(田中)
・チーム形態(医師機会、ケアマネ、訪問介護、家族の連携)

医療従事者人口の維持(特に小児科、産科、外科)(有山)
・市立病院で確保した人員を、地域開業との連携をしてもらい、地に根ざした医療従事者として成長してもらいたいと思う。地域開業の際には、医療器具の引きつぎや市よりの援助があるといい

人にやさしいまちづくり
～助け合いの街 箕面)

・いきいき明るい安全で助け合いの街「箕面」をキャッチフレーズにする(田中)

人と人がつながれる事業の町(新居)
・小さな商店などがもっと元気になる町づくりをしたい。買いものをするだけで人と人がふれあえる、人の顔が見える町の事業のあり方

市民参加

市民の意見が市政に反映されるシステムを作る(岡崎)

市民参加の町(新居)
・教育やくらしなど人と人が協力、協働することが、お互いの違いを認め認識しながらもつくっていく町の文化を育てること

人権

弱者の人が主人公となれる町(新居)
・障害者や高齢者や働きにくさをかかえた人などが、単に福祉サービスの受け手ではなく、サービスを生み出す主体としてコミュニティビジネスに積極参加できる町

人権を大切にする街へ(新居)
・ひとりひとりが違いを認めあえる街づくり。男女差別や障害者差別やいじめや様々なしんどい思いをした人がきちんと声をあげることができ、そのようなことを解決していく検討会等のシステムづくり

福祉

人にやさしい町づくり(新居)
・車に乗らなくても、歩きや自転車で活動する環境を整える。もちろん車いすも。バリアフリーや緑化スペースの拡大。車両制限地区もつくりたい

・老人、障害者の福祉は、民間、隣人にまかせるのではなく行政が責任を持ってやってほしい(岡崎)

高齢化社会の到来(藪木)
・高齢者にとって住みやすいまちづくり

箕面ブランド

ブランド(イメージ)戦略(澤田)
・ブランド力が人を呼び込む

“らしさ”の追及(澤田)
・長所を伸ばすことで全体を底上げできる

ほこれる街「箕面」を目指す(全国一をめざす)(箕面)
・内容はこれから
・子供に夢を

公共交通

・地球環境のためにも一人一台の車を利用するより公共交通を充実させ市民が便利に使えるシステムを作りたい(田中)

財政

行財政改革(澤田)
・夢を実現するためには平行して改革も必要

・健全財政にしてほしい。借金はなくして身の丈にあったらしを(岡崎)

市街地活性

中心市街地の活性化(井原)
・現在までの事業展開の流れを停滞させない

低未利用の公共施設及び用地の利活用(井原)
・まちづくりと連携した利活用
・土地売却や賃貸借などの検討

北摂連携

北摂連携
近隣市との相互連携(田中)
・生活基盤の部分(医療、防災、交通、公共設備)

自然環境

洗練された田舎づくり(澤田)
・都市的要素と田舎的要素を兼ね備えている点が箕面を強みだと思う

箕面国定公園の自然と環境を死守する(田中)
・次世代へ引継ぐ

景観

箕面にふさわしい街並景観をつくる(田中)
・水と緑の街、近隣公園

文化

文教、国際化都市「箕面」をめざす(田中)
・イメージ、内容は今後